

Cisco 6400 Service Connection Manager

Cisco 6400 Service Connection Manager の簡素化された ATM およびレイヤ 2/3 サービスを使用すると、Cisco 6400 ユニバーサルアクセスコンセントレータのネットワーク / サービス管理機能からサーバおよび DSLAM (デジタル加入者線アクセス多重装置) にアクセスすることができます。

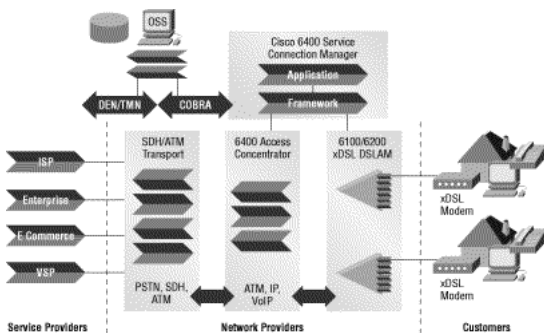
次世代のインターネットアクセス環境では、狭帯域と広帯域という複数のアクセス形式が共通のコアサービスおよび設備と結合されます。数百万の加入者に対応するこのような複合アクセス網の急速展開は、TSDN (テレフォニースケールデータ網) と呼ばれます。Cisco 6400 は、TSDN 展開におけるサービス集約の必要性に対応する、最初の新世代製品であり、Cisco 6400 Service Connection Manager がサービス中心の単純なユーザーインタフェースを介して、統合管理機能を提供します。

図 1 に示したネットワーク・ソリューションは、エンドユーザーに高速 IP 接続を提供する Cisco 6400 ベースの構成です。物理ネットワークに重なる Cisco キャリアクラス管理システムが、簡素化された統合ソリューションを提供する一方、新旧の動作条件に対応します。

エンドツーエンドでサービス中心の xDSL 展開には、DSLAM、リモート xDSL モデムのほかに、他のさまざまなインターネットワーキング・コンポーネントおよびサーバが必要であり、それらが一体となってシームレスなサービス提供が実現します。Cisco 6400 ユニバーサルアクセスコンセントレータは、このネットワークアーキテクチャの中核をなし、サービスプロバイダーのインフラ内部で、レイヤ 2 / レイヤ 3 サービスの中央制御拠点として機能します。このようなサービスには、ATM (非同期転送モード) VCC (仮想回線接続)、L2TP (Layer 2 Tunneling Protocol) による PPP (ポイントツーポイント・プロトコル) トンネリング、またはローカルルーティングおよびローカル / キャッシュコンテンツへの PPP 終端が含まれます。

Cisco 6400 Service Connection Manager は、ネットワーク接続を行うユーザーを支援すると同時に、通常、ネットワーク接続に欠かせない SNMP (簡易ネットワーク管理プロトコル) や Cisco IOS® コマンドの専門知識を不要にします。さらに、Cisco 6400 の配備プロセスを合理化し、完全な構成要素管理を実現します。Cisco 6400 Service Connection Manager により、Cisco 6400 発信 / 着信接続について、サービス中心の管理ビューが得られます。

図 1 : 一般的な Service Connection Manager 環境



機能

Cisco 6400 Service Connection Manager により、オペレータは次の作業ができるようになります。

実際のインストールに先だって、管理システムで Cisco 6400 を事前設定しておき、システムが Cisco 6400 の存在を自動的に検出し、物理的な設置およびコンフィギュレーションが完了した時点で管理が開始されるように、システムに指示できます。

自動検出機能を利用して、新しい Cisco 6400 とその詳細なハードウェア構成情報を物理的に設置された時点で識別できます。管理システムによって自動作成されたマップを利用して、Cisco 6400 のコンポーネントを正確に表示できます。

「subscriber (加入者)」などのサービス本位の用語を使用して Cisco 6400 を設定できるので、基礎のネットワーク・ファブリックを理解する必要がありません。

Cisco 6400 ポートや PVC ではなく、加入者を作成して管理できます。

サービス / 加入者本位のユーザーインタフェースを使用して、Cisco 6400 を経由する接続を設定できるので、各接続を設定する基礎となる多数の Cisco IOS ソフトウェアコマンドや SNMP MIB (Management Information Base) 変数について、専門知識がなくても大丈夫です。

PPP-L2TP など、Cisco 6400 ベースのサービステンプレートを複数定義し、各加入者に 1 つずつ割り当てることができます。Cisco 6400 QoS (サービス品質) テンプレートを定義し、加入者接続に割り当てることができます。

Cisco 6400 によって生成された SNMP トラップを、ネットワークマップ上で色分けされたアイコンとして表示できます。

SNMP を知らなくても操作できる使いやすい GUI によって、装置が SNMP を介してサポートする FCAPS (障害、コンフィギュレーション、アカウント、パフォーマンス、セキュリティ) 機能にアクセスできます。

任意の数の Cisco 6400 コンポーネント (NSP [ノード・スイッチ・プロセッサ]、NRP [ノード・ルート・プロセッサ]、および NLC [ノード・ライン・カード]) に「大量」同時操作を実行できるので、複数の Cisco 6400 を大規模に展開する場合の管理が簡素化されます。

Cisco 6400 Service Connection Manager アプリケーションのタブ式ダイアログボックスを使用して、Cisco 6400 に備わっている Cisco MIB や構成要素管理機能 (DSL provisioning MIB など) にアクセスできます。

ユーザーフレンドリな Event Browser または Performance Manager が提供する履歴情報を分析できます。

利点

基礎となる Cisco IOS システムおよび SNMP コマンドについて、最低限の知識で使用できます。

事前設定用の GUI ウィザードや自動検出機能など、手早く簡単に、しかも柔軟にインストレーションを実行する手段がいくつも用意されています。

サービスプロバイダーの方針や製品に合わせた QoS やサービス定義のコンフィギュレーションがサポートされます。

テンプレートを使用してサービス・パラメータを設定するので、エラーが起きる可能性が少なくなります。

個々の Cisco 6400 のセットアップ所要時間およびコストが最小限に抑えられます。

最小限の時間で接続を設定できるので、新規加入者に迅速にサービスを提供できます。

障害を判別し、予防的なトラブルシューティングを行うためのツールが各種用意されているので、停止時間が最小限に抑えられます。

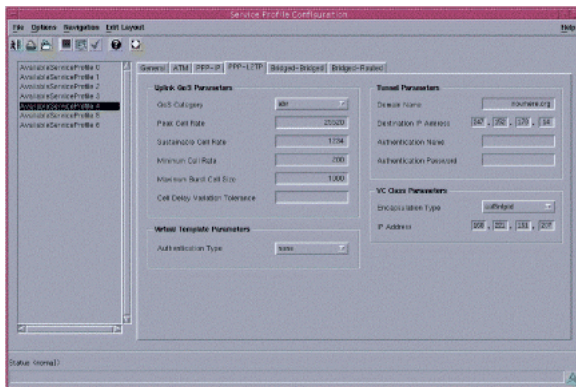
TSDN 展開の実装に必要な能力が得られます。

サービスプロバイダーのマーケティングサポート

サービスプロバイダーは一般に、さまざまな製品およびサービスを提供し、その中に Cisco 6400 のセットアップおよびコンフィギュレーションが含まれる場合もあります。たとえば、各サービスに適した一連の QoS レベルをサービスプロバイダーが定義するといったことが挙げられます。Cisco 6400 Service Connection Manager を使用すると、オペレータはサービスプロバイダーの製品、サービス、方針に基づいて 1 つ以上の QoS テンプレートを定義し、あとから加入者接続に適用することができます。サポートする各 Cisco 6400 サービスの詳細なコンフィギュレーションを、前もって定義したテンプレートと単純な GUI で定義することもできます。図 2 を参照してください。

加入者とサービスを結びつけるプロセスも同様に、Cisco 6400 Service Connection Manager を使用すると単純です。複雑な設定作業はバックグラウンドで行われ、その結果、図 3 のように、加入者用のエンドツーエンド・サービスが設定されて、選択した Cisco 6400 に組み込まれます。

図 2 : 複数の Cisco 6400 の設定



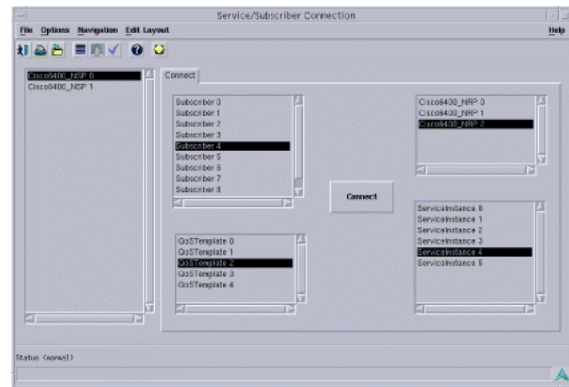
©2000 Cisco Systems, Inc. All rights reserved.

Cisco と Cisco Systems は商標です。Cisco のロゴは Cisco Systems, Inc. の登録商標です。

この文書で説明した商品、サービスはすべて、それぞれの所有者の商標、サービスマーク、登録商標、登録サービスマークです。

本仕様は予告なしに変更される場合があります。

図 3 : 加入者とサービスの結合



プロフェッショナルサービス

製品およびサービスのご提供に関して、お客さまごとに独自の条件があります。Cisco 6400 Service Connection Manager のサブライおよびサポートに関連するサービスを補完するものとして、シスコ社では、大規模で複雑になりがちなネットワーク管理統合プロジェクトを完璧に設計、実装できるような強力な体勢があります。

仕様

Cisco 6400 Service Connection Manager は、安価な Sun Ultra 5 ワークステーションによる小規模な展開から、大規模マルチプロセッサ・サーバとして動作し、フォールトトレラント・ハードウェアを備えた Sun Enterprise 450 まで、さまざまな規模のハードウェア・プラットフォームで使用できます。

一般的な構成 (中規模展開向き)

Cisco 6400 Service Connection Manager サーバ:

- Sun Ultra 60 ワークステーション
- CPU × 1 (2 つに拡張可能)
- 256-MB 以上の RAM (512-MB RAM を推奨)
- 4-GB ディスク
- データベースのパフォーマンスを向上させるための追加の SCSI ディスク (内蔵または外付け)
- 17 インチ カラーモニター
- Solaris 2.5.1 または 2.6 の動作環境

Cisco 6400 Service Connection Manager クライアント:

- Sun Ultra 5 ワークステーション
- 128-MB RAM (256-MB RAM を推奨)
- 4-GB ディスク
- 17 インチ カラーモニター
- Solaris 2.5.1 または 2.6 の動作環境



シスコシステムズ株式会社

URL: <http://www.cisco.com/jp/>

E-mail: cnac@cisco.com

〒100-0005 東京都千代田区丸の内 3-2-3 富士ビルディング

TEL.03-5645-8856 FAX.03-5641-3523

お問い合わせ先